

介護保険運営協議会委員からの地域ワークショップへの意見と市回答

委員名	意見	回答
鈴木美穂 委員	地域の強み・弱み 強みは前向きで見つけやすいテーマだと思います。しかし、弱みというとなかなか見つけにくく、そして本来とても欲しい情報だったりするかと思います。 <u>弱みの意見引き出しの際には</u> <u>「このままだと心配と思うこと」「もう少しこうだったら?」「自分自身が不安に感じること」など、ご自身に置き換えると発言が引き出せるような気がします。」</u> <u>「一人ひとりが少しずつかわることで大きな力になる」こんな形を目標にするには何ができるか?</u> <u>そんな地域像を想像していただくのも意見が出やすいように想像します。</u>	いただいたご意見を基に、1回目のワークショップでは強みは「好きなところ（暮らしの中で、好きだなと感じること）」弱みは「足りないと感じること（暮らしの中で、こうだったらいいのにと感じること）」として、自身で感じることを付箋紙に書きだしてもらいました。 次に自分自身に何ができるかという視点で考えてもらい、活発な意見が出て「楽しく年を重ねるための地域像を描く」というテーマで話し合うことができました。 ご意見ありがとうございました。
中村路子 委員	人生100年時代への取り組みが国民的課題として、見聞きすることが多くなり、多摩市でも具体的な活動に取り組まれるようになりました。その取り組みに参加させていただけるチャンス頂き嬉しく思っております。残念ながらワークショップへの参加は確約できませんが、この機会を活用させていただき少しばかり意見を記したいと思いました。 1.多摩市には歩行者専用道路が完備されており、日々ジョギングされている方を見かけます。先日、お一人でおそらくですが正式な名前は分かりませんが、杖を二本持って早速と歩くご婦人を見かけました。<u>このような企画を計画するのはどうでしょうか。</u>	1. 現在、本市では健康推進課が所管する健康づくり推進員が毎月ウォーキングを実施しています。予約不要の初心者向けウォーキングで、永山コースと聖蹟桜ヶ丘コース、多摩センターコースがあり、気軽に健康づくりのために参加できるウォーキングとなっています。 また毎年11月には「多摩さわやかウォーキング大会」を開催し市民の方の健康づくりを推進しています。 今後も市民の健康づくりを推進するようなイベントを引き続き検討していきたいと考えています。 2. 現在、老人福祉センター事業として「寿大学」を行っています。自身で興味がある教養、趣味、運動関連等の講座を受講していただいております。その後、受講者同士

	2.総合福祉センターでは、<u>高齢者向けの短期の講座がいくつも計画されており、私自身は利用させていただいたことはありませんが、継続性を持たせることは不可能でしょうか。</u>	で同好会活動として引き続き活動を行うこともできます。 市としても、高齢者の生きがいに繋がるような事業を今後も支援していきたいと考えています。
小山貞子 委員	会議の進め方 ・アイスブレイクから開始 ・グループポストイットを準備して、それに基づいて意見を共有し、発表	いただいたご意見を参考に、アイスブレイクを最初に取り入れ、好きな食べ物や趣味の話しをしました。アイスブレイクをはさむことにより、緊張がほぐれ、意見も活発に出るようになりました。 また、付箋紙に自身の意見を記入してもらい、それを模造紙に貼りグループ分けするという形で議論を進めました。 ご意見ありがとうございました。
佐々部一 前会長	地域で集まる場所や、集会の様子、その地域の歴史や名所等を写真にして発表してもらおうと様々な話題に発展していくと思います。	いただいたご意見を参考に、1回目ワークショップでは、各包括支援センターの職員が各地域の特徴をスクリーンに映して説明をしました。 ワークショップに入る前に地域の特徴を説明してもらおうことで、議論が活発化しました。ご意見ありがとうございました。